

| 種別           | 症状                         | 原因                               | 処置                                 |
|--------------|----------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| ホイール<br>バランス | 電源が入らない<br>何も点灯しない         | 一次電源が来ていない<br>内部電子部品・配線不具合       | ヒューズ、電源スイッチの確認 ※1<br>販売会社へ相談       |
|              | 電源は入るがホイールが回転しない           | ブレーカーのヒューズのうち1つが切れている            | ヒューズの確認・交換                         |
|              | 精度不良                       | タイヤ内に異物、水などが入っている                | 異物、水を取り除く                          |
|              |                            | 測定モードを間違えている                     | 電源投入時は①になっているため<br>対応したモードに変更する ※3 |
|              |                            | balanser 本体の振動                   | アンカーボルト増し締め                        |
|              |                            | ホイールが正しくクランプされていない               | ハブ穴の径・シャフト径に適したコーンを選定 ※2           |
|              |                            | アダプターの損傷、汚れ等                     | 清掃、傷へこみがある場合は交換                    |
|              |                            | 入力リムデータ(ゲージアーム)の不良               | 自己校正の実施 P.19                       |
|              | エラーが表示される【E-E】<br>バランス修正ミス | スケールが出ている<br>イン・アウトの修正位置が逆になっている | スケールを最後まで戻す<br>修正位置の確認             |

※掲載している図及び名称は異なる場合がございます。  
 詳細は機器に備え付けられている説明書をご参照ください。

作業を行う際は「必ず電源を切ってから」行ってください

※1 電源スイッチ



※2 取付方法

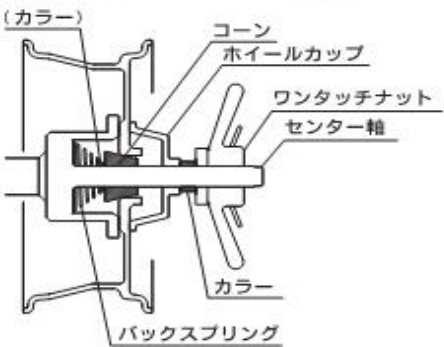
(A) バックコーンとして使用する場合

図①のようにセンター軸にバックスプリングとホイールのハブ穴に合ったコーンを入れホイールをコーンの上にのせます。次にホイールカップとカラーをはめ、ワンタッチナットで締めつけます。この時コーンが奥まで入り込むような場合はバックコーンとスプリングの間に、一番短いカラーを入れて使用してください。(パネの収縮が少ないので、カラーを入れて収縮を大きくして、コーンによるセンター出しを正確にします)

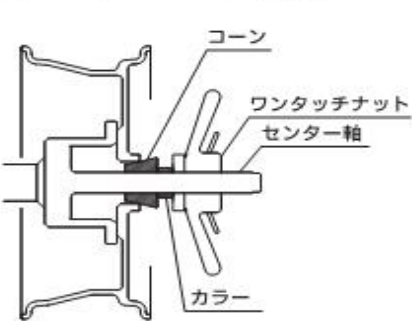
(B) フロントコーンとして使用する場合

図②のようにハブ穴に適したコーンと、カラーを用いてワンタッチナットでホイールを締めつけます。

【①バックコーンの場合】



【②フロントコーンの場合】

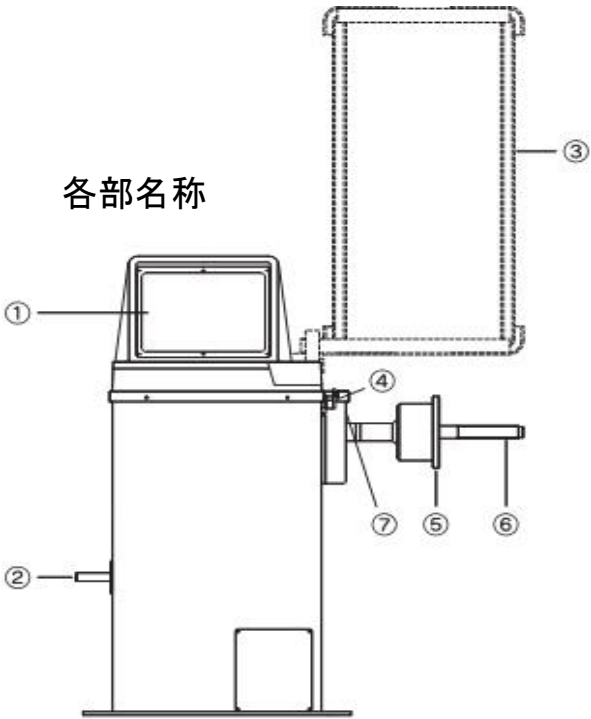


※3 測定モード

**MODE** を押すと①－②－③－④－⑤－①の順にモードが選択されます。

- ① 両面打込モード
- ② アルミ貼付－貼付モード
- ③ アルミ打込－貼付モード
- ④ スタチックモード
- ⑤ ライトトラックモード

各部名称



- ① 操作パネル
  - ② パーツハンガー
  - ③ タイヤガード (※OP)
  - ④ ディスタンススケール
  - ⑤ 主軸
  - ⑥ センター軸
  - ⑦ LED照明 (※OP)
- (OPはオプションの略)